

技術管理センター(TMC)の概要

技術管理センター(TMC: Technical Management Center)では、航空保安施設(各CNS装置、航空灯火、電気施設、発電設備、無停電電源設備)における機能要件の策定から運用業務の技術サポートに至るまでのライフサイクル管理、新システム・新技術の導入及び現行システムの円滑な縮退を通じて航空交通の安全・安心の確保とユーザーニーズへの的確な対応に取り組んでいる。

また、ライフサイクル管理の推進強化により、管制技術業務、航空灯火電気施設業務及び交通管制機械業務の品質向上、施設整備の最適化及び運用コストの効率化を図っている。

■ 技術改善・支援

機器の設置・運用・保守に関する必要な施策を提供するとともに、機器の運用・保守に関する技術的なサポートを行い、航空保安システム、航空灯火電気施設及び予備電源設備の安全・安心に寄与している。また、技術解析の結果、老朽化が著しいと判定した場合は機器の更新を検討する。



■ 技術解析

運用・保守・開発・試験評価等の様々なデータを分析し、信頼性の向上・効率的な運用を実現する。また、技術的な課題及び原因を明らかにし、技術改善や次期システム等の開発及び試験評価に反映する。



■ 開発

国際標準、国内法、関連基準等を調査し、技術基準を策定する。また、管技・灯電・機械の連携及びユーザーニーズを調査し、機能要件、仕様書を策定する。

■ 機器製造・調達

機器製造の技術的な審査、監督及び検査を実施している。また、機器の操作性、保守性の向上等、ヒューマンエラーの防止等、信頼性の高い機器を調達する。



■ 試験評価

プロトタイプを用いた導入評価により新技術の検証や航空灯火用機器の試験評価(点灯・配光等)を実施する。また、運用前評価により、より安全な運用移行や信頼性の向上を図る。

